

Casting Our Eyes
on the Future

視線はまっすぐ未来へ



Financial Report

第90期年次報告書

平成22年4月1日～平成23年3月31日



Ahresty
株式会社 アーレスティ

証券コード：5852



Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

タグライン「Casting Our Eyes on the Future」は、その社名に込められた企業理念を実現すべく、アーレスティで働く者すべての視線が、常にお客様、地球環境、そしてアーレスティ自身の未来へ向けられ、Research (研究・開発)、Service (サービス)、Technology (技術) において常に主導的リーダーに立ち前進しようという企業姿勢を具現化したものです。

なお、“Casting”は、“投げかける”という意味の他に、当社の主要事業である“Die Casting”の意味も込めています。

タグライン：タグラインは、アーレスティブランド、企業理念を社内外へ発信する究極的なメッセージであり、コーポレートシンボルとセットで使われる言葉です。

[a:resti]

これからは、より質の高い
Research, Service, Technologyを
追求していきます。

アーレスティはR・S・T、Research、Service、
Technologyこれらの三つの言葉の統合ですが、
Rは単に研究・開発だけでなく、
どうしたらもっとお客様のお役にたてるかの創意と探求、
Sは製品の品質やアフターサービスだけでなく、
お客様とのすべての接点で、
そしてTはこのRとSをささえる知識と
技術を考えています。
この社名に込められた企業理念を大切に生かし、
様々な製品を通して、
広く社会のお役に立ちたいと願っております。

CONTENTS

株主の皆様へ	2
経営基本方針	3
コンプライアンス基本方針	4
環境方針	4
事業の概況	5
事業別の概況	6
連結財務諸表	7~8
トピックス	9
株式情報・会社の概要	10

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお
礼申し上げます。

また、本年3月の東日本大震災により被災されまし
た皆様には心よりお見舞い申し上げます。被災地が1
日も早く復興することを心よりお祈り申し上げます。

ここに、第90期(平成22年4月1日から平成23年3月31
日まで)の事業の概要につきまして、ご報告いたします。

今後とも事業の発展に全力を尽くしてまいる所存です。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援とご指導
を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月



代表取締役社長

高橋 新

常に生きいきと活動し理論と実験と創意と工夫を尊重して、
品質のすぐれた製品と行き届いたサービスを提供しよう

(1) 経営の基本方針

当社の社名アーレスティは、ResearchのR、ServiceのS、TechnologyのTを続けて読んだものであります。Researchとは絶えることのない新技術・新市場・新しい販売方法の開発・研究調査、Serviceとは人と人とのふれあいのなかで本当に行き届いた温かいサービス、Technologyとは世の中に役立つ真によいものをハードとソフトも含めて作ってゆく技術を意味します。このRとSとTは、お互いに深く支え合いながら、お互いをよりすばらしいものへと磨きあっていくという有機的な関係にあります。私たちは、このような考えのもとにResearch、Service、Technologyを統合した思想を企業理念として「アーレスティ」を社名としております。

当社の長期的な経営の方向性を示した「アーレスティ10年ビジョン」では「『すべてのステークホルダーから信頼されるグローバルトップ企業』をめざす」ことを基本の方針とし、顧客・株主/投資家・従業員・取引先・社会の5つの利害関係者の視点に立って「信頼される企業」となるためにはどうすべきかという観点であるべき姿を描き、具体的な指針・手段として方針を定めております。この10年ビジョンをベースに中期経営方針（1012 3ヵ年アーレスティ方針）では、より具体的な施策・目標値を設定し、更に部門方針へと展開して全社的な活動を推進しております。

(2) コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、株主をはじめとする全てのステークホルダーに対する経営責任と説明責任を明確にするとともに、高い透明性を伴った経営体制を確立することで、当社グループ全体での収益力の拡大と企業価値の増大を目指しております。さらには内部統制システムとリスク管理体制を充実させ、グループ

子会社の事業活動についても管理・監督を行う経営システムの構築を図ることをコーポレート・ガバナンスの基本的な方針と考え、重要な経営課題であると認識しております。

コンプライアンス基本方針

株式会社アーレスティは、コンプライアンスの基準として、この基本方針を制定し役員および従業員は、自らの行動または業務遂行のための行動において、これを遵守します。

- 1 私たちは、全てのお客様の満足・信頼を旨とし、品質や安全性に配慮して、優れた製品と行き届いたサービスの提供をします。
- 2 私たちは、お客様の安心・信頼を念頭に置き、あらゆる法令を遵守し、高い倫理観と責任感を持って行動をします。
- 3 私たちは、公正で透明な取引関係を構築し、健全な事業を行います。
- 4 私たちは、継続的な企業価値の増大を追求し、魅力ある企業を目指します。
- 5 私たちは、お互いに人格・価値観を尊重し、健康かつ安全な職場環境を目指します。
- 6 私たちは、会社財産を保護し、適正に取り扱います。
- 7 私たちは、全ての利害関係者から不信を招くことがないように、健全かつ正常な関係を維持・確立します。
- 8 私たちは、地球環境への配慮を会社の重点課題として認識し、環境保全に向けて自主的かつ積極的に行動します。
- 9 私たちは、グローバルな視野を持って、地域の文化や習慣を尊重し、社会への貢献に向けて行動します。
- 10 私たちは、企業市民として広く社会とのコミュニケーションを行い、地域の発展と快適で安全な生活のための活動に協力し、地域社会との共生を目指します。

環境方針

かけがえのない地球を守るのは私たちの大切な役割です。株式会社アーレスティの環境への取組みをご紹介します。

- 1 私たちは私たちの開発、生産、販売、廃棄の活動が地球環境と深く関連し影響を与えていることを明確にとらえ、環境目的・目標・実施計画を定め、それらを必要に応じて見直し、環境保全活動の継続的な改善をはかります。
- 2 私たちは国・地方公共団体・利害関係者などの環境規制、規則、協定などの要求事項を順守し、さらに技術的・経済的に可能な範囲で自主基準を定め、一層の環境保全に取組みます。
- 3 私たちは特に次の事項について優先的に活動し、環境保全と汚染予防に取組みます。
 - ①大気汚染、水質汚濁に関する施設・工程の管理・改善を徹底します。
 - ②廃棄物の再資源化100%を維持します。
 - ③廃棄物総排出量の減量、アルミリサイクル事業の拡大を推進し、循環型社会へ貢献します。
 - ④CO₂排出の抑制をはかり、地球温暖化防止への配慮をします。
 - ⑤環境に配慮した製品および商品の開発・設計に取組みます。
- 4 私たちは従業員一人ひとりの環境保護意識の向上をはかるため、教育・啓蒙活動を継続的にを行います。
- 5 私たちは良き企業市民として、地域社会の環境保全に努め、地域との共生をはかります。

～私たちはこの環境方針を社内外を問わずに公表いたします～

事業の概況

■企業集団の事業の経過および成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、自動車購入支援策等の経済政策効果による個人消費の持ち直しや、輸出の増加による企業の業績回復等を背景に、全体としては緩やかな回復基調でありました。しかし、平成23年3月に発生した東日本大震災は生産及び消費活動に多大な影響を及ぼしています。

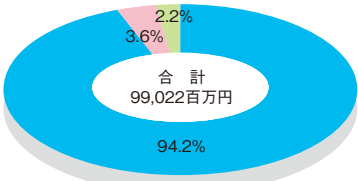
海外においては、米国では失業率は高水準であるものの景気は緩やかな回復基調にあり、中国及びインドでは内需を中心に景気拡大の動きが続きました。

このような環境の中で、当社グループではグローバルでのダイカスト需要増に対応するため、中国、メキシコ、インドを中心に生産設備を拡充し、中国では2拠点目となるダイカスト生産拠点を安徽省合肥市に設立し平成23年夏の立上げを目指すなど海外生産能力の増強を進めています。一方、国内においては、中長期的には国内ダイカスト需要が減少すると予想されることから、浜松工場と豊橋工場を東海工場として統合し、平成25年3月を目処に集約・再編すべく進めています。

当連結会計年度の業績については、東日本大震災による影響があったものの需要回復及び新規部品受注などにより国内外で総じて増収となり、売上高は99,022百万円(前期比30.7%増)となりました。

収益面においては、増収及び原価低減等の効果により、営業利益は3,765百万円(前期比614.5%増)、経常利益は3,557百万円(前期比530.4%増)、また、東海工場への統合に伴う事業構造改善費用として特別損失1,363百万円を計上したこと等により、当期純利益は1,481百万円(前期は当期純損失59百万円)となりました。

■事業別売上の状況

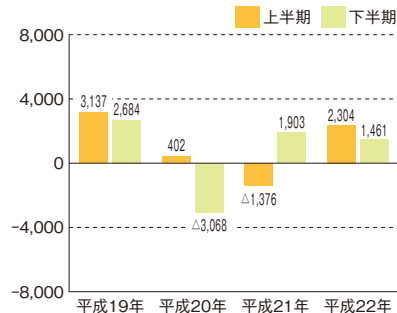


ダイカスト	93,312百万円
アルミニウム	3,524百万円
完成品	2,186百万円

■業績の推移 (連結)

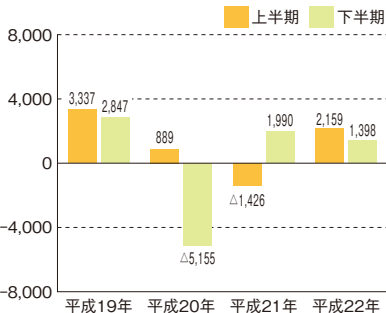
■営業利益

(単位:百万円)



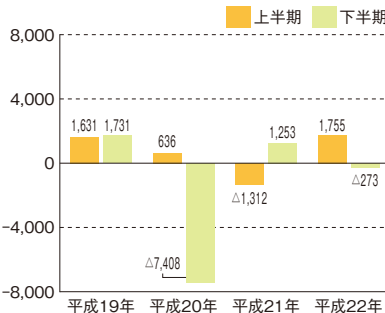
■経常利益

(単位:百万円)



■当期純利益

(単位:百万円)



事業別の概況

ダイカスト事業

① ダイカスト事業 日本

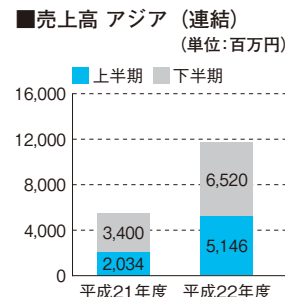
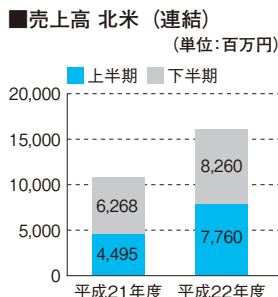
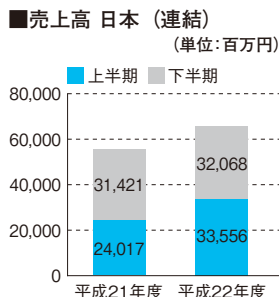
国内では、主要販売先である自動車業界においては、国内自動車販売は、環境対応車購入時の補助金終了の反動や東日本大震災の影響で前年実績を割り込んだものの、国内自動車生産は堅調な完成車輸出に支えられ前年実績を超えました。その結果、当社においても受注が増加し、売上高は65,624百万円（前期比18.4%増）となりました。収益面においては、増収効果により、セグメントの利益は1,929百万円（前期はセグメントの利益26百万円）となりました。

② ダイカスト事業 北米

北米では、自動車販売が回復基調にある中、主要顧客からの受注も回復し、更にメキシコでの新規顧客への部品供給も始まったことにより、売上高は16,020百万円（前期比48.8%増）となりました。収益面においては、増収効果、原価低減活動を推し進めたことにより、セグメントの利益は1,029百万円（前期比99.7%増）となりました。

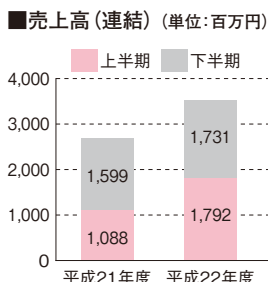
③ ダイカスト事業 アジア

中国では、政府の購入支援政策等を追い風とした好調な自動車販売により、当社においても受注が高水準で推移しました。インドでも同様に受注が増加したことに加え、新規顧客への部品供給も始まったことにより、売上高は11,666百万円（前期比114.6%増）となりました。収益面においては、主に増収効果により、セグメントの利益は723百万円（前期比151.6%増）となりました。



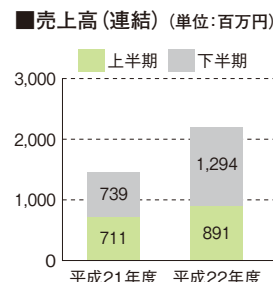
アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、受注量は価格競争等の影響により前年と同程度の量に留まりましたが、地金市況が上昇したことによって、売上高は3,524百万円（前期比31.1%増）となりました。収益面においては、原価低減活動を推し進めたことによる効果が得られたものの、セグメントの損失は13百万円（前期はセグメントの損失188百万円）となりました。



完成品事業

完成品事業においては、延期となっていた半導体関連企業の設備投資が再開されたことに加え、首都圏を中心としたデータセンター、大手金融機関の電算機室等の受注により、売上高は2,186百万円（前期比50.7%増）となりました。収益面においては、増収効果によりセグメントの利益は84百万円（前期はセグメントの損失123百万円）となりました。



連結財務諸表
Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当 期 平成23年3月31日現在	前 期 平成22年3月31日現在	科 目	当 期 平成23年3月31日現在	前 期 平成22年3月31日現在
資 産 の 部			負 債 の 部		
流 動 資 産	40,530	34,472	流 動 負 債	35,775	29,650
現 金 及 び 預 金	9,179	5,267	支 払 手 形 及 び 買 掛 金	18,571	15,059
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	20,254	20,246	短 期 借 入 金	3,910	2,942
商 品 及 び 製 品	2,717	1,732	1 年 内 返 済 予 定 の 長 期 借 入 金	6,990	6,045
仕 掛 品	3,542	2,792	未 払 法 人 税 等	364	98
原 材 料 及 び 貯 蔵 品	2,903	2,353	賞 与 引 当 金	1,225	1,147
繰 延 税 金 資 産	673	736	役 員 賞 与 引 当 金	18	1
そ の 他	1,260	1,347	そ の 他	4,695	4,356
貸 倒 引 当 金	△ 1	△ 3	固 定 負 債	23,616	23,077
固 定 資 産	53,268	53,505	長 期 借 入 金	14,950	15,424
有 形 固 定 資 産	46,284	46,228	繰 延 税 金 負 債	3,514	3,732
建 物 及 び 構 築 物	9,486	10,047	退 職 給 付 引 当 金	3,587	3,485
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	21,318	20,714	役 員 退 職 慰 勞 引 当 金	122	122
工 具 、 器 具 及 び 備 品	3,354	3,508	事 業 構 造 改 善 引 当 金	1,220	－
土 地	5,746	5,803	負 の の れ ん	54	165
リ ー ス 資 産	44	56	そ の 他	166	147
建 設 仮 勘 定	6,333	6,098	負 債 合 計	59,391	52,728
無 形 固 定 資 産	543	620	純 資 産 の 部		
投資その他の資産	6,440	6,656	株 主 資 本	38,066	36,822
投 資 有 価 証 券	6,052	6,131	資 本 金	5,117	5,117
繰 延 税 金 資 産	79	182	資 本 剰 余 金	8,363	8,363
そ の 他	309	343	利 益 剰 余 金	24,943	23,698
貸 倒 引 当 金	△ 1	△ 2	自 己 株 式	△ 358	△ 358
資 産 合 計	93,799	87,977	その他の包括利益累計額	△ 3,740	△ 1,640
			そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	1,680	1,795
			繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△ 16	－
			為 替 換 算 調 整 勘 定	△ 5,404	△ 3,435
			新 株 予 約 権	81	67
			純 資 産 合 計	34,407	35,249
			負 債 純 資 産 合 計	93,799	87,977

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当 期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで	前 期 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
売 上 高	99,022	75,777
売 上 原 価	85,780	67,090
総 利 益	13,241	8,686
販売費及び一般管理費	9,476	8,159
営 業 利 益	3,765	526
営 業 外 収 益	530	624
受 取 利 息	14	12
受 取 配 当 金	103	60
ス ク ラ ッ プ 売 却 益	103	—
負 の の れ ん 償 却 額	110	279
そ の 他	198	272
営 業 外 費 用	738	587
支 払 利 息	517	459
為 替 差 損	172	—
そ の 他	48	127
経 常 利 益	3,557	564
特 別 利 益	211	183
固 定 資 産 売 却 益	46	177
退 職 給 付 制 度 改 定 益	141	—
そ の 他	23	6
特 別 損 失	1,553	830
固 定 資 産 除 売 却 損	84	173
関 係 会 社 清 算 損	—	167
製 品 補 償 費 用	—	420
事 業 構 造 改 善 費 用	1,363	—
そ の 他	104	68
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失（△）	2,215	△ 82
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	745	146
法 人 税 等 調 整 額	△ 11	△ 169
少 数 株 主 損 益 調 整 前 当 期 純 利 益	1,481	—
当 期 純 利 益 又 は 当 期 純 損 失 （△）	1,481	△ 59

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当 期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで	前 期 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,058	9,112
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,491	△ 10,341
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,090	△ 232
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 744	△ 39
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,912	△ 1,500
現金及び現金同等物の期首残高	5,267	7,274
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△ 507
現金及び現金同等物の期末残高	9,179	5,267

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

トピックス

Topics

中国金型工場（広州）新工場稼動開始

阿雷斯提精密模具（広州）有限公司（アーレスティダイモールド広州）は、中国国内のダイカスト生産量の拡大に伴う金型需要の増大を受け、広州阿雷斯提汽车配件有限公司の敷地内から近隣の用地を確保し移転を進めておりました。2010年7月に新工場が完成し同年11月より稼動を開始しました。

建屋面積：第1期工事 2,679㎡
第2期工事 1,830㎡（2012年2月竣工予定）



アーレスティダイモールド広州の開所式

中国第2のダイカスト生産拠点稼動開始

中国における第2の生産拠点として2010年8月に設立した合肥阿雷斯提汽车配件有限公司（合肥アーレスティ）は、2011年4月に鑄造工場（第1期工事）が完成し、2250t鑄造機・800t鑄造機、溶解炉等の生産設備の据付も完了し、同年7月より稼動を開始します。



合肥アーレスティ鑄造工場外観



合肥アーレスティ鑄造工場内部

メキシコ金型工場稼動開始

Ahresty Mexicana, S.A. de C.V.（アーレスティメヒカーナ）は、日本から調達している金型を現地製作するため、金型工場を2010年9月に新築し、金型生産設備を導入し同年12月より稼動を開始しました。



アーレスティメヒカーナ金型工場（○の部分）外観

株式情報・会社の概要

Stock Information・Corporate Information

■株式状況（平成23年3月31日現在）

● 株式数および株主数

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	21,778,220株
株主数	4,440名

■大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口9)	1,032	4.7
高橋 新	915	4.2
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	816	3.7
(株)三菱東京UFJ銀行	765	3.5
本田技研工業(株)	672	3.1
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	672	3.1
日本軽金属(株)	657	3.0
モルガンスタンレーアンドカンパニーインク	647	3.0
HSBC PRIVATE BANK (SUISSE) SA HONG KONG BRANCH -CLIENT ACCOUNT	597	2.7
ザバンクオブニューヨークジャスティックインドリーティアーアガント	589	2.7
計	7,368	34.2

(注) 1. 株式数は千株未満を切り捨てて表示してあります。
2. 持株比率は自己株式(238,709株)を控除して計算してあります。

■会社概要（平成23年3月31日現在）

商号	株式会社 アーレスティ
設立	昭和18年11月2日
資本金	51億1,759万円
従業員数（単独）	1,002名

企業集団の従業員の状況

	従業員数
ダイカスト事業日本	2,036名
ダイカスト事業北米	1,539名
ダイカスト事業アジア	1,813名
アルミニウム事業	51名
完成品事業	29名
全社（共通）	203名
計	5,671名

取締役および監査役（平成23年6月23日現在）

代表取締役社長	高 橋	新
取締役	古 屋	茂
取締役	石 丸	博
取締役	野 中	賢 一
社外取締役	宮 内	忠 一
常勤監査役	熊 木	勉
常勤監査役	見 目	康 夫
社外監査役	早 乙 女	唯 夫
社外監査役	志 藤	昭 彦

■事業拠点一覧（平成23年3月31日現在）

当社本社・工場

名 称	所 在 地
本社	〒164-0011 東京都中野区中央1-38-1
東松山工場	〒335-0812 埼玉県比企郡滑川町大字都25-27
熊谷工場	〒360-8543 埼玉県熊谷市御稜威ヶ原284-11
浜松工場	〒433-8520 静岡県浜松市中区小豆餅4-14-1
豊橋工場	〒441-3153 愛知県豊橋市二川町字東向山80番地
テクニカルセンター	〒441-3114 愛知県豊橋市三弥町中原1-2

(注)平成23年4月1日をもって浜松工場と豊橋工場を統合し東海工場としております。

当営業所

名 称	所 在 地
関東営業所	〒164-0011 東京都中野区中央1-38-1
浜松営業所	〒433-8520 静岡県浜松市中区小豆餅4-14-1
大阪／関西営業所	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-23-26
厚木営業所	〒243-0014 神奈川県厚木市旭町5-43-14
栃木営業所	〒321-0215 栃木県下都賀郡壬生町大字壬生乙4060
名古屋営業所	〒446-0054 愛知県安城市三河安城本町2-11-7
熊本営業所	〒869-0521 熊本県宇城市松橋町浦川内36

子会社

名 称	所 在 地
(株)アーレスティ栃木	〒321-0215 栃木県下都賀郡壬生町大字壬生乙4060
(株)アーレスティ熊本	〒869-0521 熊本県宇城市松橋町浦川内36
(株)アーレスティ山形	〒992-0832 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥乙65
(株)アーレスティ ダイモールド浜松	〒431-1104 静岡県浜松市西区桜台5-3-10
アーレスティ ウイルミントンCORP.	2627 S.South Street, Wilmington, Ohio 45177, U.S.A.
広州阿雷斯提汽車 配件有限公司	中華人民共和国広東省広州経済技術開発区永和経済区 新豊路7号
アーレスティメヒカーナ S.A.de C.V.	Calle Industria Automotriz #20 Complejo de Naves Industriales la Zacatecana Guadalupe, Zacatecas C.P.98600, Mexico, D.F.
アーレスティインディア Private Limited	Plot No.194, Sector 4, Growth Centre Bawal, Dist. Rewari, Haryana PIN 123401, India

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公 告 の 方 法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.ahresty.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

お知らせ

- (1) 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。



当社ホームページ
<http://www.ahresty.co.jp>

当社ホームページの「IR情報」では、株主の皆様様に最新情報をお届けしております。あわせてご覧ください。

Research Service Technology

株式会社 アーレスティ

〒164-0011 東京都中野区中央1-38-1 住友中野坂上ビル11F
TEL.03-5332-6001 FAX.03-5332-6037
URL: <http://www.ahresty.co.jp>



ISO14001:2004認証取得

本社、浜松工場、東松山工場、熊谷工場、豊橋工場、
テクニカルセンター、
株式会社アーレスティ栃木、株式会社アーレスティ熊本、
株式会社アーレスティ山形、株式会社アーレスティアリテック



ISO9001:2000認証取得

JUSE-RA-053
本社(但し、商品営業部を除く)、
浜松工場(但し、海外支援室を除く)、東松山工場、
豊橋工場、熊谷工場、技術部、
株式会社アーレスティ栃木、
株式会社アーレスティ熊本、
株式会社アーレスティ山形
JUSE-RA-057
商品営業部及び関連組織